

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二椎の実子供の家
日時	令和6年11月5日、13日、18日

1. 活動テーマ

<テーマ>

4歳児 『音』①音を探しに行こう！

<テーマの設定理由>

- ・毎年、園行事にてピアノの訪問演奏会が行われる。その中で響板にオルゴールをくっつけると音の大小があることを知る。
- ・リズムや音が鳴る仕組みに興味を持つ子が多くいた。

2. 活動スケジュール

- ・3グループ7～8人に分けて行う。
- ・1グループ、30分程度の活動時間で行う。

3. 探究活動の実践

<活動の為に準備した素材や道具、環境の設定>

- ・カメラ ・iPad ・iPhone ・記録用メモ
- ・オルゴール（小さな世界、にじ、山の音楽家、あめふりくまのこ）

<活動の内容>

- ・オルゴールや電子機器（撮影方法）の取り扱い方、注意事項を伝える。
- ・2人1組になり園内、園庭を探索する。
- ・オルゴールを使用して音が大きくなる場所、小さくなる場所を探す。
- ・床や壁、窓や扉、保育室内にある棚やおもちゃなどにオルゴールをあてて音を聞く。
- ・色々な素材、場所にオルゴールをあてて音を鳴らすことで音の大小や音色の変化に気付く。
- ・友達が音探しをしている様子をiPadで撮影する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

- 床（木）にオルゴールをつけると音が大きくなると発見する。他にも壁やピアノ、椅子につけて音の大きさや鳴り方を確かめていた。
- カーテンやマットでは音が小さいと気が付く。
- 音の鳴り方で、窓や階段の下の部分「カリカリ」した音がすると感じた。
- シャワー横（鉄の部分）を確かめた際、「この素材は大きな音がする」と素材について興味を持ち始めた。
- 4つのオルゴールがそれぞれ異なるメロディーを奏でていることに気付く。音を探すだけでなく、「音って楽しいね。なんだか歌いたくなっちゃうね」とワクワクした気持ちへと変化する。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 音の鳴り方や大小の変化に子ども達も気付いていたが言葉での表現の仕方がわからない様子だった。「大きくなったね」「小さくなったね」と言葉をかけたり、子ども達が表現していたオノマトペの言葉を一緒に繰り返すことで、友達と音を共有できるようにした。
- オルゴールをあてる素材によって音の大小の変化があること、音が作り出される環境や仕組みに興味を持っていた。次回は楽器を使って自分で音を作り出す楽しさを味わうことができる活動に取り組みたいと思う。